



【真木レポート 第3号】発行：真木大輔後援会

教育について

真木 このたびは、対談のお願いを快くお引き受けくださり、ありがとうございます。本日はよろしくお願ひします。

菅原 いえいえ、こちらこそよろしくお願ひします。真木さんは、医学部専門予備校で教鞭をとられておられますが、以前より私の教育政策にご助言していただいております。大変感謝しております。

真木 私は、教育とは人のその後の人生を大きく決定付けるものだと考えています。私が勉強に興味を持ったのは、中学校時代の理科の先生のおかげです。非常に教育熱心で、自作のプリントを大量に作ってくれたり、おもしろい実験を色々やらせてくれました。その先生には今でも感謝しています。いま、私は子どもにも教える立場ですが、どんな生徒であっても、考え方の基礎を正しく身に付けさせれば、その生徒の実力は必ず向上します。子どもにとって、教育の環境はとても重



真木大輔プロフィール

- 昭和57年3月7日生 30歳 A型
- 茨城県立水戸第一高校卒
- 東京大学(教養学部)卒
- 医学部専門予備校講師(物理科)

【特 技】
難しいことをわかりやすく教えること
【尊敬する人物】 福沢諭吉、湯川秀樹
【座右の銘】 和を以て貴しとなす
【趣 味】 音楽鑑賞、料理、読書
【好きな食べ物】 きのこ、どら焼き

戸田市の政策

真木 戸田市の教育政策は比較的進んでいると思います。例えば、戸田市は小学校における英語教育を全国に先駆けて実施し、実際に成果を上げています。これ

要です。

菅原 先日、iPS細胞の開発でノーベル医学賞を受賞した山中教授は、「国の支援がなければ受賞できなかった。日本という国が受賞した。」とおっしゃいましたが、私はその言葉にとっても感動しました。

真木 山中教授のコメントは研究に関してですが、教育についても同様です。国や地方自治体が未来に向けて投資すべきものは、何よりもまず「教育」であると私は考えています。

菅原 そうですね、教育は「国家百年の計」と云われるように、国や自治体が長期的な展望をもって取り組むべき政治課題です。



菅原文仁(すがわらふみひと)
昭和50年7月30日生 37歳
明治大学大学院修了
埼玉県議会議員(戸田市選出)

は他にはない取り組みです。

菅原 私が市議の時には、読書活動を推進するよう提言し、その計画が策定されました。小さいうちから本を読むことはとても大切です。教育現場に携ってこられた真木さんから見て、今後の戸田市の教育政策についてはどうお考えですか？

真木 私は、戸田市には「理数教育」の強化が必要であると考えています。

理数教育

真木 これからの日本を考えたとき、物的資源に乏しい日本が成長を維持していくためには、日本人の「開発力」と「技術力」が必要です。そして、その礎となるものが「理数的素養」です。日常生活や仕事においても、物事を論理的かつ効率的に判断するために、理数的な考え方はとても役に立ちます。

今後の教育施策

菅原 たしかに世界に誇る科学技術を持つ日本ですが、近頃は子ども「理科離れ」が叫ばれています。国際的な調査(PISA)によると、2000年に「数学1位、科学2位」であった日本学生の理数教科の学力は、2009年には「数学9位、科学5位」と急速に落ち込んでいます。アジア諸国に後塵を拝している現状です。

真木 点数のみをもって教育政策の判断をすべきとは思いませんが、2012年の全国学力・学習状況調査によれば、埼玉県の中学生の理数教科の結果は、全国平均を大きく下回っています。さらに、埼玉県が独自に行った学習状況調査では、戸田市の中学生の理数学力は、埼玉県の平均に届いていません。

菅原 戸田市の理数教育を強化するために、真木さんは具体的にどのような施策をお考えですか？

真木 まずは、指導力を向上させるために、教員の研修が必要だと考えています。現在、一部の自治体では「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築事業」という、理数系教員の養成プログラムを展開しています。隣のさいたま市では本年度に採択されましたが、戸田市でも早急

人材の活用や先進的な教育法・教材の採用も必要です。

菅原 真木さんと視察した「埼玉県立総合教育センター」では、JAXAや理研と共同で教材の開発が行なわれていましたね。その他にも、県ではインテルと東大が共同開発したグループ学習法を導入しています。こういった取り組みを市町村教委が積極的に推進することも良いと思います。

真木 私も、埼玉県との適切な連携を図ることは有益だと考えています。市内小中学生の明確な学力アップを実現し、近い将来に戸田市から、あらゆる分野で日本を支える優秀な人材を輩出していきたいと考えています。

菅原 教育を語る政治家は数多くいま

真木の4大政策

- 1. 教育改革の徹底推進!**
市内小中学校における「理数教育の強化」を中心とした教育改革を行い、日本を支える人材の素養を作ります。
- 2. 行財政改革の断行!**
行政の無駄を見直し、「自立した財政運営」と「費用対効果を重視した行政経営」とを推し進めます。
- 3. 戸田を子育て日本一に!**
産みやすく、育てやすく、学ばせやすい環境をつくり、戸田を「日本一子育てしたいまち」にします。
- 4. 安全・安心の確立!**
人のいのちを最優先にした上で、防災、防犯、消防、医療に力をいれ、安全安心なまちを作り上げます。



2012年11月発行
発行者 真木大輔後援会
戸田市大字新曾1057-8003
電話・FAX 048(234)8435
ホームページ makidaisuke.jp
メールアドレス info@makidaisuke.jp